

競技注意事項

1. 競技規則について

2023年陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- 選手招集は第3ゲートバックスタンド下で実施する。
- 招集開始時刻に係員からアスリートビブスとスパイクの確認を受け、競技者係の誘導指示に従う。現地での最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに招集所に「多種目同時出場届」を提出すること。
- 欠場する場合は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- 用紙（「多種目同時出場届」・「欠場届」）は正面玄関ホールの特設TICに置く。
- 招集時刻（競技開始時刻を基準とする。）

トラック 予選									トラック準決勝・決勝	
100m・200m・400m			800m・110mH・100mH 400mH			1500m				
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前	15分前	5分前
9～12	5分前	5分後								
13～15	5分後	15分後								

フィールド					
棒高跳		その他の跳躍競技		投てき競技	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
60分前	50分前	50分前	40分前	40分前	30分前

- 混成競技の招集は、第1日目及び第2日目の最初の種目については、正規の招集手段で招集所にて行う。2種目以降はトラック種目25分前、フィールド種目40分前に混成控室（会議室①）に集合すること。ただし、競技の進行によって集合時間が変更になる場合がある。なお、棄権しようとする競技者は直ちに混成競技係に申し出ること。
- リレーに出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までにTICに用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し招集所に提出すること。
- 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の通信機器を招集所・競技エリア内に持ち込むことを禁止する。

3. アスリートビブスについて

- アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- 写真判定にともなう腰ナンバー標識は、右側後方につけること。
- 1500m予選・決勝、少B3000m決勝、5000m決勝、3000SC決勝、5000mW決勝については別腰ナンバー標識を使用する。招集所で受け取り、フィニッシュ後に競技者係に返却すること。
- 混成競技の最終種目（男子1500m・女子800m）のアスリートビブスにおいては胸部・腰部は順位が表記されている別アスリートビブス・別腰ナンバー標識（混成競技係よりレース前に配布）を使用し、背中自身のアスリートビブスを使用すること。フィニッシュ後に混成競技係に返却すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- 予備予選、予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお準決勝、決勝の組み合わせ（レーン順、試技順）は全て番組編成員が行う。
- タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、レーンに余裕があり、写真判定によっても着差が認められなければ、同記録の選手の出場を認める。レーンに余裕がない場合は、本人または代理人により抽選する。ただし、オープンレーンの競技（800mは除く）の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。

③十種競技の最終種目においては上位の順位の選手から内側レーンにシードする。

5. 競技について

①競技者に対する助力については、TR. 6に準ずる。

②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。

男子5000mW 28分 女子5000mW 29分

③三段跳の踏切板は、砂場から男子13m00、女子10m00の地点に設置する。

④男女走幅跳・三段跳の競技前練習について、試技順に「足合わせ1本」「公式練習2本」を行った後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。

⑤走高跳の競技前練習について、フリーで足合わせを行った後、競技順に事前に決められた高さでの「公式練習2本」とする。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男子	走高跳	1m70、2m00	1m75-80-85-88-91-94-97-2m00 以降3cm刻み
	十種走高跳	1m40、1m70	1m45-50-55-60-65-70-73-76 以降3cm刻み
	棒高跳	3m70、4m50、4m80	3m80-90-4m00-10-20-30 以降10cm刻み
	十種棒高跳	2m40、3m50、4m00	2m50-70-90-3m00-10-20 以降10cm刻み
女子	走高跳	1m40、1m55	1m45-50-55-58-61-64-67 以降3cm刻み
	七種走高跳	1m20、1m45	1m25-30-35-40-45-48-51-54 以降3cm刻み
	棒高跳	2m70、3m20、3m70	2m80-90-3m00-10-20-30-40 以降10cm刻み

※同記録による順位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

※バーの上げ方（練習の高さを含む）については、天候等の状況により変更する場合がある。

7. 競技用具について

①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。

②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。

③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

④シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。

8. 表彰について

①県選手権種目優勝者（国体選考種目は除く）には選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。

②結果のアナウンスののち、該当者は直ちに表彰席（玄関ホール）に来ること。

9. 近畿大会の出場権について

①本大会6位（男子十種競技、女子七種競技は4位）入賞者は、近畿選手権大会に出場できる。但し、県内登録者に限る。出場希望者は、プログラム掲載の大会要項を確認の上、申込み切期日までに申し込むこと。

②今大会中に申し込む場合は、プログラム最終ページの「個人申込票」に記入し、参加料を添えて正面玄関ホールのTICに提出すること。

10. 練習について

①メイン競技場の練習時間帯は2日間とも7：30～9：00とする。

補助競技場の練習時間帯は1日目8：00～16：30、2日目8：00～16：00までとする。

②メイン競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。

- ③メイン競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用した者で準備・片付けをすること。マットや踏切板の使用はできない。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。メイン競技場通路や駐車場周辺で、ダッシュ等のウォーミングアップは禁止する。
- ⑦室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とする。

11. その他

- ①本大会の記録証明書（500円）は、玄関ホールのTICに申し出ること。
- ②競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負わない。充分注意すること。
- ③テントはメインスタンド、サイドスタンドは禁止する。バックスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。各自、各チームが出したごみは持ち帰りを基本とする。各チームで使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に協力すること。
- ④貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ⑤各チームの荷物は、すべての競技が終了したのちに、室内練習場に置くことができる。
- ⑥競技場外でのテントの設営を禁止する。
- ⑦横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑧スマホ以外で撮影する場合は、玄関ホールのTICにて受付すること。撮影許可証は首からかけ、退場時に返却すること。大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。
- ⑨混成控室は混成競技に出場する選手のみ使用ができることとする。